

# TAKE OFF!

2019.06.01

## いんくる通信 No.18

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

### ◎いんくるからの就職者の状況

ジョブアシストいんくる開設後6年を迎え、累計の就職者数が60人になりました。その状況をまとめてみましたのでご覧ください。

ここ3年は順調に就職者が出ています。(→①)しかし、就職後も離職せず、就業生活を長く継続する事こそ目標になります。就職後の6カ月の定着率は9割以上ですが、時間が経過するにつれ離職も増え、3年後には75%の定着率になっています。(→②)それでも障害者雇用の全国平均(1年後に70.4%)よりは高い水準にあります。就職直後の離職には気を付けなければいけないところですが、その後も離職に至るきっかけは継続的に表れると言えます。

就職者の所持する障害者手帳種別の内訳を見ると、6割が精神障害者手帳を所持しています。3割の知的障害者手帳所持者とあわせると両方で全体の9割を占めています。近年増加が指摘されている発達障害を有する方は、精神障害者手帳、知的障害者手帳、手帳無し、にまたがって就職者の半数近くを占めています。(→③)

職種としては、事務、事務補助を合わせて3割以上を占め、その人気ぶりは他を大きく引き離しています。介護や清掃は慢性的な人手不足と言われる業界ですが、就職者数は多くありません。(→④)

勤務地は市内近隣と通勤時間が短い23区西部、多摩地区を合わせると全体の7割を占めています。(→⑤)通勤に要する時間も働きやすさを測る大きなポイントです。障害者雇用の裾野が広がったせいか、近隣地域への就職者数が増加の傾向にあります。

いんくるは昨年10月から就労定着支援事業を始めました。就職後6カ月のアフターフォローにある方に加え、その期間が終わった後に定着支援事業を契約して支援を提供している方も徐々に増えています。現在は合わせて23人に対して定着支援を継続して行っています。(→⑥)また、お住まいの地域の就労支援センター等に定着支援を引き継いだ方にも、多くの方に就職者の会に参加いただいたり、折に触れ電話連絡を頂いたり、関係は継続しています。(鈴木)

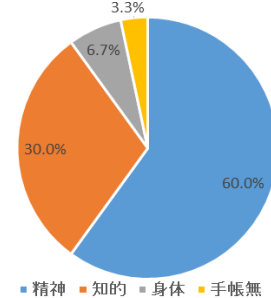
⑥<定着支援数>	
種類	人数(人)
就職後6カ月のアフターフォロー中	10
定着支援事業(契約)	10
特例として対応	3
合計	23

①<就職者数>							
年度	2013.6.~	2014	2015	2016	2017	2018	合計
就職者数(人)	0	11	5	14	14	16	60

②<定着率>				
就労期間	6カ月後	1年後	2年後	3年後
定着率(%)	92.3%	84.4%	77.4%	75.0%

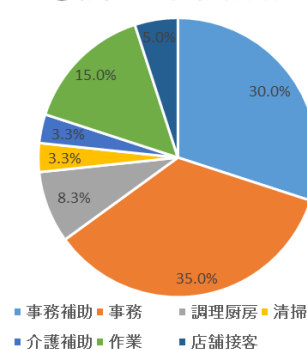
③<障害別>						手帳種別は精神、知的、無しにまたがる。
障害手帳種別	重複する場合は主な障害のみカウント				合計	発達障害
	精神	知的	身体	手帳無		
就職者数(人)	36	18	4	2	60	26
割合(%)	60.0%	30.0%	6.7%	3.3%	100.0%	43.3%

③障害手帳別 就職者割合



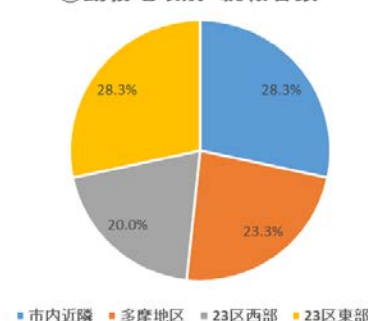
④<業務内容別>								
職種別	事務補助	事務	調理厨房	清掃	介護補助	作業	店舗接客	合計
就職者数(人)	18	21	5	2	2	9	3	60
割合(%)	30.0%	35.0%	8.3%	3.3%	3.3%	15.0%	5.0%	100.0%

④職種別 就職者割合



⑤<勤務地域別>					
勤務地域	市内近隣	多摩地区	23区西部	23区東部	合計
就職者数(人)	17	14	12	17	60
割合(%)	28.3%	23.3%	20.0%	28.3%	100.0%

⑤勤務地域別 就職者数



## ◎プログラム紹介:JST(Job related Skills Training)

JSTは「Job related Skills Training」の略で、「職場対人技能トレーニング」と呼ばれています。職場で一般的に想定される対人コミュニケーション課題を設定し、グループワークの中でいんくるご利用者によるロールプレイや意見交換を行いながら、職場で必要となる対人コミュニケーションスキルを高めていくグループワークプログラムです。

いんくるでは、ご利用者との面談や日々のプログラム・トレーニング、卒業された方の職場定着支援など、様々な支援過程において、ご利用者が直面する最も大きな課題の一つが対人コミュニケーションであることを実感しており、「就職後に役に立つ、実践的な対人コミュニケーションスキルの向上」を目的に、最適な手段は何かを考えてプログラム開発を進め、障害者職業センターの助言等も頂き、JSTを導入しました。今年2月からスタートし、今までに4回実施しています。過去4回は、毎回10名程度の方が参加し、「上司に業務完了を報告したいが、他の方と会話しているときに、遮って用件を伝える」「職場でミス指摘されたときに謝罪する」といった、職場で実際によくありそうな場面をテーマに取り上げ、ロールプレイを行いました。JSTは①最初に職員が悪い見本を見せ、気づいたことやどうすればよくなるかなどの意見を出してもらい、②その後良い見本を見せ、悪い見本との違いを中心に感想を述べてもらって、③見本や出された意見・感想を踏まえて、参加者がロールプレイを実践し、④ロールプレイの「よかったところ」「工夫すると更に良くなる場所」を意見交換する、という流れで進行します。実際の仕事の場面を想定していることもあり、皆さん真剣に見本を見て、どうしたらうまくできるかを考えて様々な意見を出し合い、ロールプレイも一生懸命取り組まれていました。終了後の感想として「実際に自分でやってみて、見ているときにはわからなかった難しさを感じた」「他の人のロールプレイがとても上手だった。自分もできるようになりたいので、これから練習していきたい」「職場で役に立ちそうだなと思ったが、日々の活動でも役立ちそうなので、早速いんくるの作業トレーニングで実践したい」といった声があがっています。(後藤耕士)

## ◎就職者交流会

4月30日、ジョブアシストいんくるでは特別プログラムとして、いんくるのご利用者と卒業生の交流会を行いました。ゴールデンウィーク中ではありましたが卒業生7名と現ご利用者12名が参加しました。

前半の座談会では、いんくるから就職された方々がいんくる利用中どのように就職準備を進めていったか、身につけておいてよかったことなど、就職に向けてのアドバイスや実際に就職した後の苦労ややりがい、言葉遣いや報連相の大切さなど発表してくださいました。

卒業生には現いんくるご利用者からのアンケートを事前にお伝えし、「聞いてみたいこと」にお答えいただいたのですが、「就職活動で使ったファイルを見直しました。」などと、

活動を振り返り、現利用者に向けてアドバイスや励ましのメッセージをそれぞれの形で伝えてくれました。当時、一緒に就職活動の伴走をしてきた私は、この日の卒業生たちがとても頼もしく見え、嬉しく思いました。

いんくるを利用中の皆さまにとっても、自分達が今通っているこの事業所から実際に社会に出て働いている方々の言葉は、非常に説得力があり、参考になるものだったのではないのでしょうか。また、当日の質疑応答では現ご利用者から「朝が苦手で…」「おこづかいの使い方が上手くできなくて…」「休みの日はどのように過ごしていますか」などの問いかけに、多くの方が通勤は余裕を持って行けるように朝の準備に工夫をしていること、目標の貯金額までは節約に励んだこと、入社当初の休日は家で休むだけで精一杯だったなど、先輩方から生の声を聞くことができました。



後半は昼食を一緒にとりながら、交流を図りました。不安や疑問に優しくアドバイスをしてくれたり、趣味の話に花を咲かせたりと楽しい食事会となりました。参加者から、またこのような機会を作ってもらいたいと多くの感想がありました。今後も卒業生たちと現役生の情報交換の場を持てるよう、このような企画を開催していけたらと考えています。(小池陽子)

## ◎新職員紹介

今年度からいんくるに加わったスタッフをご紹介します。  
☆榎戸 寿美子 4月より就労支援を行うことになりました。ご利用者やご家族の意向を大事にしながら、希望される職種への就職に向けた支援を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。  
☆岸野 和博 6月より入職しました。新たな環境での仕事に期待や喜びを持って取り組んで行きたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

※TAKE OFF! は今年度から年4回の発行になります。

テイク オフ! いんくる通信 No.18 2019.06.01  
社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>